## 令和7年度第1回守山市地域ケア推進会議 議事録 (要旨)

開催日時	令和7年10月9日(木)午後2時から午後3時30分まで
場所	守山市役所 防災会議室
委員出席者	福田委員(会長)、藤本委員(職務代理者)、奥村委員、大谷委員、
	門田委員、今江委員、成瀬委員、吉村委員、西本委員、真渓委員、
	坂口委員、内田委員(順不同)
委員欠席者	中島委員、田中委員、今井委員
事務局	(健康福祉部) 理事 沖田、次長 川上
	(長寿政策課) 課長 竹村、係長 青木、係長 中井
	主任保健師 竹村
関係課	(地域包括支援センター) 所長 今野、課長補佐 川島
	係長 大木、主任介護支援専門員 林
	(在宅医療・介護連携サポートセンター) 主任保健師 寺西
	(介護保険課) 課長 堀江
	(すこやか生活課) 係長 阿部
関係機関	(守山市社会福祉協議会) 生活支援コーディネーター 内藤
	(南部地区地域包括支援センター) 所長 渕田
	(中部地区地域包括支援センター) 所長 山口
	(北部地区地域包括支援センター) 所長 大西
会議の次第	1 開会
	2 報告事項
	生活支援体制整備事業について
	3 協議事項
	第1回守山市地域ケア個別会議からみえてきた地域課題について
公開・非公	■公開 □非公開
開の別	
傍聴者	なし

## 1 開会

<福田会長より開会>

## 2 報告事項

生活支援体制整備事業について

関係機関	資料1に基づき説明。
(内藤 Co)	
奥村委員	自治会の加入者はだんだん少なくなってきている。若い方は特に
	自治会離れがどの自治会でも進んでいる状況。自治会員の見守り
	は当然行っているが、未加入者に対してはどのように対応すべき
	か難しい。木浜自治会では、民生委員と自治会が共同して健康福

	祉部を立ち上げて、見守り活動を行っている。自治会員以外にも
	民生委員は見守りを行っており、なるべく多くの方の見守りがで
	さればと思っている。自治会によって状況は違うが、こういった
	流れが定着していくと良い。何かいい方法があれば、ご提案いた
	だきたい。
大谷委員	民生委員と福祉協力員が一緒に見守りを行うことは、現状難し
八分安員	い場合がある。民生委員と福祉協力員が丁寧に話し合い、和気
	あいあいとできる活動にしていけたらと思う。自治会に加入し
	ない方からは、自治会に入ってもメリットがないといったことが関かれて、京齢になるにのれ、怨見等ができないよい。た理
	が聞かれる。高齢になるにつれ、役員等ができないといった理
	由で脱退される方もいる。高齢になっても自治会にいられる状
	況で、助け合える自治会ということが実感できれば良いと思   -
<b>小杯</b> 子口	
成瀬委員 	河西学区の「ささえ愛ネット河西」は利用したいと希望される
	方がいても、経済的な理由や単身世帯のみといった条件があ
	り、なかなか利用が増えないといった課題があったが、どのよ
	うに解決されたか。
関係機関	家族が対応できる状況なのか、近くに住んではいても対応でき
(内藤 Co)	ない状況なのかといったことを、ボランティアで判断してい
	る。希望していても対応してもらえないといった事案が過去に
	あったが、ボランティアなりに一定の基準を設けて実施の可否
	を判断されており、実施する方が増えてきている。
吉村委員	守山学区で実施している男性の料理教室の5名参加というの
	は、リピーターなのか、実施するたびに参加の声掛けをしてい
	るのか。吉身のごみ出しボランティアの利用者が伸びないの
	は、市のごみ出し支援施策の影響があるのか。中洲学区の「お
	たっしゃですか通信」は、毎月 200 人以上の方に訪問して配布
	しているのはすごい取組だと思った。
関係機関	守山学区の「おとこの料理教室」は、学区内で発行されている
(内藤 Co)	広報誌を見て集まっている。リピーターは3名程。家族に勧め
	られて参加された方や、不器用な方等、将来のことを考える
	と、参加してくださって良かったと思っている。吉身学区のご
	み出しボランティアについては、ケアマネジャーやヘルパーが
	対応しているケースもあり、数はあまり増えていない。中洲学
	区の「おたっしゃですか通信」は民生委員と福祉協力員が協力
	して毎月200人以上の方に届けており、中洲らしい取組を継続
	されている。
事務局	前日ごみ出し支援事業を6月から開始している。要介護認定や
(課長 竹村)	障害者手帳を持っている方、日常生活に問題がある方を対象に

	実施している。吉身学区については、本事業開始前から前日ご
	み出しを認めていたため、吉身学区の取り組みに特に影響はな
	いと考えている。これまで高齢者の方で56件、障害者の方で9
	件の申し込みがある。
	また、同じく6月から自治会支え合い活動応援事業も開始して
	いる。日常生活の支援が必要な高齢者の方や、障害を持ってい
	る方に対して、自治会が概ね1時間以内でごみ出しや庭木の水
	やり、電球交換等の活動を行っている場合は、自治会に対して
	ひと月あたり1万円の報奨金を支給している。これまで13自治
	会から申請を受けている。
福田会長	守山市がかなりお金を出して取り組んでおられるということ。
	自治会もかなり協力して取り組まれている。
藤本委員	前日ごみ出し支援については、支援が必要な方に対して認めて
	いるということだが、当事者は申し込めないと思うが、誰が申
	し込みをするのか。
事務局	ケアマネジャーや家族などの支援者が申し込みされている。
(課長 竹村)	
藤本委員	守山市在住で、ごみ出しが出来なくて住みづらくなっている高
	齢者は、この事業を活用すれば支援してもらえる。個別ケア会
	議から挙がった議題で、事業化するにあたっては色々な反対意
	見もあったが、乗り切ったということか。守山市として認めて
	いるということか。
事務局	守山市の広報やホームページ等にも掲載し、自治会回覧でも周
(課長 竹村)	知している。
藤本委員	全国的にごみ出し問題はある。個別ケア会議から政策化したの
	はすごいこと。
福田会長	予算をつけているのはすごいと思う。
門田委員	「おとこの料理教室」の話があったが、男性はいつから食事を
	準備して食べるところまでの自立に向けて準備を始めるのか気
	になった。参加者の年齢はどれくらいの方か。どういった状況
	の方の参加を想定しているのか。
関係機関	主に高齢夫婦のみの世帯を想定している。今後主に家事を担っ
(内藤 Co)	ている妻の体調が悪くなった場合に、夫が困るだろうというと
	ころを少しでも改善できるようにしたい。そういった実態があ
	ることを啓蒙している。年齢や生活状況等に特に制限なく実施
	されている。
西本委員	中洲の「おたっしゃですか通信」は、民生委員が交代でお手紙
	を作り、各自治体で一人暮らしの高齢者をピックアップして配
	布している。民生委員だけでなく、福祉協力員や自治会長も協

	力して配布しており、それが見守りになっている。
 成瀬委員	「おとこの料理教室」について、年齢等の制限が何もないのは
	良い。以前に男性向けの料理教室を開催したことがあるが、今
	でも男性は料理しない傾向にあるのか。楽しさを盛り込んだ
	ら、より多くの参加が見込まれるのではないか。
今江委員	速野学区でも福祉協力員や民生委員が協力して、地域の見守り
	をされているが、十分に見守りができていない。自治会や他の
	団体も協力してやっていければ、もっとうまくできるのではな
	しいか。
坂口委員	特殊詐欺等、高齢者が被害に遭う事件も増えているため、「お
	  たっしゃですか通信」のような高齢者と接する機会に警察から
	  の情報発信も併せてできないか。高齢者といっても、まだまだ
	元気で働いている方もおり、お金をたくさん持っている方も多
	い。悪質な訪問業者が自宅に押し掛けてきて、無理やり契約さ
	せられるといった事件もある。警察としても、各世帯に指導等
J. E. T. E.	は行っているが、限界があるため、協力してもらえたら。
内田委員	大きな災害が発生した際には、この家にどのような人が住んで
	いたのかといった情報が必要になるが、市役所等は災害直後は
	機能しないため、地域の民生委員や近所の方々の情報が非常に
	重要になる。各地域で様々な取り組みをされているが、ターゲ
	ットや取り組み内容にばらつきがあるように感じる。
藤本委員	特殊詐欺に関しては、何組もの外来患者から話を聞いている。
	県外の県警を名乗ってくる等、手法が巧妙化している。一人被
	害が出たら、周囲の複数人からも訴えを聞く。深刻な問題だと
	感じている。
	I.

## 3 協議事項

第1回守山市地域ケア個別会議からみえてきた地域課題について

事務局	資料2、参考資料1、参考資料2に基づき説明。
(主任保健師	
竹村)	
藤本委員	にも包括とは、数年前から精神科分野で提言されたもので、認
	知症への取組を基に考えられているもの。認知症施策など、
	色々な分野の取組が、精神科分野に置き換えられて作られつつ
	ある。しかし精神科でもあまり定着していない。今回の地域ケ
	ア個別会議で挙がった事例の一つは、医療につながっておら
	ず、困った人・大変な人で終わっている。精神疾患の可能性が
	あれば、本当にそうなのかの確認が必要。精神疾患の場合は、
	医療保護入院等、色々な入院の仕組みがある。医療保護入院や

	措置入院の場合は、精神保健指定医の決定が必要のため、ハー
	「おしべんの場合は、福戸保健指定区の代定が必要のため、ブロードルが高い。最近では、認知症か精神疾患か判別できないケー
	スがあった。大きな病院で検査を行ったが、何も異常が見つか
	らなかったという理由で、2か所の病院で対応してもらえず、
	3か所目で当院に来院された。本人はたらい回しのような状況 まね まりに ないない
	に怒っており、何も話してくれなかった。専門医につながるま
	でのルートがもっと簡単になれば良いと思う。地域での困った
	人に対して、病気であれば治療することができる。反省点とし
	ては、困ったことが大きくなければ、しばらく経過をみるとい
	った対応をすることになるが、何か月か経って問題が大きくな
	ってしまうことがある。もう少し前から関わりが増えていれ
	ば、違った経過になっていたのではという場合もある。特に精
	神疾患では、手が付けられなくなる前に関わることが重要。対
	象者との関係づくりも大事。関わる人たちで共通認識を持てる
	と良い。
福田会長	周りに迷惑をかけていて、家族もいないようなケース等、対応
	に困るようなケースはどの自治会でもおられると思うが、どの
	ように対応されているか。
奥村委員	こういった場合には、見守ることしかできない。精神疾患を抱え
	る方については、どのように捉えたら良いのか難しい。精神疾患
	なのか認知症なのか、地域では判断できない。できる事とすれば、
	地域での見守りをしっかりすることと、近所の方が理解できるよ
	うに環境を整えていくこと。
福田会長	地域で相談される内容はどういったものか。
奥村委員	以前相談があったのは、高齢者ではなく、動きが激しい人。周り
	としては関わると危害を加えられるのではないかという思いが
	あり、関わらない方がよいとされていた。経過観察するしかなか
	った。近所の理解がないと、その先も住み続けられないため、理
	解が得られるような環境づくりは必要だと思っている。
大谷委員	50 代前後で精神障害があり、入退院を繰り返している方がいた。
	自分の意思で退院してきたが、親への暴力がある。自分がいて良
	かったのかという思いから、自分が今こうなっているのは親のせ
	いだと考えている。親はその暴力が怖くて、家を出て近所の家に
	逃げている状況。どう対応したらよいのか困ったため、地域包括
	支援センターに相談した。どうすることもできず、改善しない状
	況が続いている。
吉村委員	近所に夜になると大声を出す男性がいたり、夜中に親子喧嘩をす
	る女性がいる。たまたま警察が近くに来た際に相談した。あまり
	に長引くときは交番に連絡するよう言われ、よく警察が見回りに
L	

	ノフトるにおった 年のこの同 割ねて立然と悪な様でぶまれば
	くるようになった。年2~3回、割れる音等心配な様子があれば
	通報しているが、日々の大声等は様子を見ている。地域から出て
	いってほしいとは思っていない。ご家族も気にされているのか、
	あまり話しかけてこないが、こちらからは積極的に挨拶するよう
	にしている。自分が勤めている病院には精神科がないが、以前精
	神科病院で働いていた精神保健福祉士がソーシャルワーカーと
	して採用されたため、精神疾患について聞けるようになった。医
	療者としても、精神科疾患の理解が深まり、結果的に病院の中で
	精神科の医師を増やす必要性を感じ、一般診療科の医師と精神科
	の医師とのコミュニケーションが増えた。経験のある精神保健福
	祉士がいると心強い。認知症の理解が広まっているのと同様に、
	精神疾患の理解が広まっていけると良い。医療職側が疾患の理解
	を深めることも大事。
福田会長	精神疾患の理解を深めていく上で、精神保健福祉士などの専門
	家から指導等があると良いのではないか。
成瀬委員	近所の方が熱中症疑いで救急搬送されたが、そこで認知症を指
	摘された。その方は 100 歳近くだが元気に過ごされて、意識も
	ちゃんとしておられる方だったが、認知症の指摘をされたこと
	でガタっと落ちて、地域の会合にも出られなくなり、うつ病の
	ような状態になった。どのようにサポートすると良かったの
	か。また仕事関係の別の方では、自分が不利な状況になったら
	「自分には精神障害がある。原因はパワハラを受けたから
	だ。」と話す人もいる。精神科医を受診されているが、医師に
	どのように言われているかもわからず、仕事に出てくるように
	伝えても、出てこない。弁護士に相談する等しているが、どの
	ように指導していくと良いのか悩んでいる。
西本委員	色々と相談を受ける中で、精神的な障害が疑われる方もいる。
	とにかく傾聴していると、最後には納得して電話を切られる。
	いっぱい話を聞くことが良いと思う。
今江委員	お隣の方が知人の帰宅時に毎晩家の前に立っていると知人から
	相談されたことがある。警察にも届けたが、警察としても状況
	証拠がないとのことで対応してもらえず、知人本人が抱え込む
	ことになった。知人は頭がおかしくなると訴えて、引っ越しの
	準備をしている。
真渓委員	「行政の支援について、拒否される方も多い。何らかの疾患を抱
	えていても意識されず、意に沿わない支援は拒否される。今回
	の個別ケア会議での事例のように、対応の困難さを感じてい
	る。地域で見守っていただいて、孤立させないことが何より重要を持ているがった場合は、いかに冷切れておないかがす
	要。支援につながった場合は、いかに途切れさせないかが大

<ul> <li>で支援が途切れないようにしていけたら。</li> <li>福田会長 滋賀県の取組として園域推進チーム会議の設置とあるが、湖南園域でもこのような会議を開催しているのか。</li> <li>春和5年度から湖南園域でも精神保健医療福祉サーム会議を立ち上げている。精神担当課やそれぞれの関係場出された課題については、場内全域の会議でも取りまとめている。精神障害の方に関する通報は多くある。関係機関に早期に引き継ぐように対応している。自傷他書するるよと関係でも取りませるで、は精神保健及び精保健のではでいる。本者に関するる。包見不能がある方に型でいる等、でいるが、微妙な事とで、保健のではでいる。なが、微妙な事とで表で、のの主にしているが、のでなが、変響としているが、のでなが、変響としているのが、微妙な事と、実性関係によいというるが、微妙な事とはまりこともある。住民のでは大きいとの見してからるが、微妙な事とはまりにないます。</li> <li>内田委員 満席広域治防局では草津守山栗東野洲を管轄しており、全部ではなかる。を開は成功でもより、全部でで表の対応ではより、全部でで表の対応ではより、全部でで表の対応ではより、全部でで表の対応ではより、全部でで表の対応ではより、全部でで表の対応であるため、地域であったといる。精神疾略の表達の対応ではいいたもあった。精神とと協力したの対応していいとも多い。</li> <li>内田委員 着経経の守山地のでは、毎年作業所に出向い関診拒否をする方もいるが、を対応していいのではないのではないのではないが難しいといきを対しても、対定と精神疾患を見分としても、験だったのものは、まを鑑りと思りをする方もいのではないから感じたが、様知のではないかが難しいといきのは、できからなはのではないかが難しいというのは、どういったところか。</li> </ul>	田会長 遊買県の取組として圏域推進チーム会議の設置とあるが、湖南 圏域でもこのような会議を開催しているのか。   真渓委員		
福田会長 滋賀県の取組として圏域推進チーム会議の設置とあるが、湖南 関域でもこのような会議を開催しているのか。 今和5年度から湖神担当課やモれぞれの関係係機関が集まり、実継継続が困難なケースについて検討している。 出された課題については、県内全域である。 関係は関応早期に引き継ぐように対応している。 関係は関応早期に引き継ぐように対応している。 関係機関の下期に引き継ぐように対応している。 有神経関する必要、としている等の方にないのでも取りまととのでは特神保健及び精神障害の方にでの方にでも動力にないののでは、といりのなが、微妙な事業であれば、診験性をが情さいとものであれば、対している等が、微妙な事業であれば、対している。 といりになってといり、 の等察としまうことで、機関の不安と感じていいのでもない。 といりになったといりになった。 といりになったとは、 といりになった。 といりになった。 といりにながに、 といりにながに、 といりにながに、 といりにながに、 といりにながに、 といりにながに、 といりにながに、 といりになった。 というのが、 全は、 といり、 をがいる。 特神疾患の対応に対して、 にいる。 特神疾患の対応が関しいという。 特神をいる。 特神疾患の対応が関いたといい。 特神を対応していいないが、 対して、 に、 ののではいいというには、 毎年作業所に出向いて、 利用者の資かではいいない。 というのは、 というのは、 というのは、 を連れて、 に、 を要にに、 に、 をでいるのではないのではないが、 といいとい、 もに、 を連れて、 といのではないが、 といいとい、 もに、 を連れて、 はいのではないが、 といいとい、 もに、 を連れて、 に、 を連れて、 といいのではないが、 といいとい、 もに、 を連れて、 といいのではないが、 といいとい、 もに、 を連れて、 を連れて、 をでいるのが、 といいとい、 もに、 を連れて、 を連れて、 を連れて、 を連れて、 を連れて、 を連れて、 を連れて、 を連れて、 が、 を連れて、 をがいないに、 をでいないに、 でいないないに、 でいないないに、 でいないないないないないないないないないないないないないないないないないないな	福田会長 滋賀県の取組として対象権を関係を対している。		事。行政はどうしても縦割りになっているが、横の連携を行っ
関域でもこのような会議を開催しているのか。  真渓委員 令和5年度から湖南圏域でも若れぞれの関係機関が集まり、支援継続が困難なケースについて検討している。 問いまとめている。 特神に当まとめている。 関係機関に早期に引きをしている。 関係機関に早期に引きをしている。 関係機関に早期に引きをしている。 関係機関に早期に引き継ぐように対応している。 関係機関が多くある。 関係機関の方に関する。 関係機関の方に関する。 関係機関の方に関する。 関係機関の方に関するの道報は自傷他に関する法律第23条に基づく通報ということで、保健所にである。 他域に関する法律第23条に基づく通報ということで、保健所にである。 他域に関する。 他域に受めている等。 といののでもなが、 であれば、 であれば、 であれば、 であれば、 でからにになってした。 といののでは、 でのからである。 関係の不安と受に、 にいたのである。 関係の不安は、 で、 で、 ののでは、 で、 ののでは、 とののでは、 で、 ののでは、 で、 ののでは、 で、 ののでは、 で、 ののでは、 ののは、 といらなどが、 ののでは、 ののは、 といらない。 を連れては、 ののでは、 ののは、 といらなどが、 ののは、 といらなどが、 ののでは、 ののでは、 ののは、 といらないのでは、 ののは、 といらないのでは、 ののは、 といったところか。	関域でもこのような会議を開催しているのか。  真溪委員 令和5年度から湖南圏域でも特神保健医療福祉チーム会議を立ち上げている。精神担当課やそれぞれの関係の選問に早期については、集内内と域の会議でも取りまとめている。 関係機関に早期に引き継続が困難なケースについる。 関係機関に早期に引き継ぐよりに対応している。 関係機関に早期に引き継ぐように対応している。 関係機関に早期に引き継ぐように対応している。 関係機関に早期に引き継ぐように対応している。 では精神保健及び精神障害であれば、のでは大きについる。 をは、大きにしている等、側らかに危険なあれば、のでは、大きを関がしているが、微妙な事で、のが、微妙な事などのでは、ののは、大きのでは、大きなどがあったが、大きさいい。 大きなどがない。 大きなどがないないないないないないないないないないないないないないないが、大きさいなが、大きをでいなが、大きには、大きには、大きには、大きには、大きには、大きには、大きには、大きには		
京渓委員 令和5年度から湖南圏城でも特神保健医療福祉チーム会議を立ち上げている。精神担当課やそれぞれしている。精神担当課やそれが認力を強力している。精神に対している。特神に対している。特神に対している。最近に対している。最近に対している。最近に対しては、場内を強力を強力を対している。という。という。という。という。という。という。という。という。という。という	京渓委員 令和5年度から湖南圏域でも特神保健医療福祉チーム会議を立ち上げている。精神担当課やそれぞれの関係機関が集まり、更接継続が困難なケースについて検討している。 間に見いては、県内全域の会議でも取りまとめている。 精神障害の力に関する通報は多くある。 関係機関に早期に引き継ぐように対応に対応に着している。 個番組に関する法律第23条に基づく通報ということで、保健所をであれば、スムーダににながるが、一次である。 情報をいうことで、保健所であれば、スムーグ院につながるが、一次である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。	福田会長	滋賀県の取組として圏域推進チーム会議の設置とあるが、湖南
ち上げている。精神担当課やそれぞれの関係機関が集まり、支援継続が困難なケースについて検討している。出された課題については、県内全域の会議でも取りまとめている。 特神障害の方に関する通報は多くある。関係機関に早期に引き継ぐように対応している。自傷他害のおそれがある方については精神保健及び精神障所に通知報している。 名し丁を決防にことで、の等、明めな事案であれば、会に基づくいる等、明かな事業であれば受診変性性があるが、微妙な事業であれば受診を性を感じまり回しているが、微妙な事業であれば受診要性性を情にでいる。 が、微妙な事業であれば、無院必必要性をがあるにといる。 といることは必要。地域住民の不安は大きいことはなってしまとは必要。地域住民の不安は大きいて、東神との方とは必要。地域の民生素に行きる、たい、自己の教急事があるが、時間は時間かかお話がが、変しいたがあった。精神疾降降り未必可謝にいるが、変しいというがあった。精神をというというがでで、実験でいる。 特神疾の対応で30対応で31時間になることがあった。特ととある、精神疾降降り未必可謝が応で31時間かかお話ががが、表して、対応できたの。 世域の民生素員や警察等と協力して対応していととも多い。地域の民生素員や警察等と協力して対応していばからた。 衛科医師会の守山地でいない。 地域の民生素員や警察等と協力に対応が応いばいたの、衛子を対抗が変していている。 できたのは良い体験だった。 衛等の支援者があるだが、家連れと対を変わるが、大を連れて対なが変にしている。また、別にはないるではと思う。ども良いのではないのがが、一にしても、支援を対しなくても良いのではないるが難しいというのは、どういったところか。	ち上げている。精神担当課やそれぞれの関係機関が集まり、支援継続が困難なケースについて検討している。出された課題については、県内全域の会議でも取りまとめている。精神障害の方に関する通報は多くある。関係機関に早期に引き継ぐように対応している。自傷他害のおそれ律第23条に基づく、領機ということで、保健所にでは「大きなどを要性を受けている。等、明らかに全に変変要性であれば、影響を関じているが、微妙な事業であれば、影響を関じてもして、なが、警察として医療に引き継ばの不安を感情をして、いるが、警察として医療に引き組織では大きいとしている。関係係不安と感じている。が、警察として正ともある。関係の不安と関してないるが、会がの事業である。関係の不安を感じているが、会がの事業に引きるが、発展の不安を感じている。特神疾患の対応時間になることがあった。精神疾患の対応時間にいることがあったが、表意などがあった。精神疾患の対応で3時間いたこととだがあった。精神疾患の対応して3時間にいたことがあった。精神疾患の対応している。地域の民生委員や警察と協力して対応していきない。地域の民生委員や警察をと協力して対応していき、も多い。地域の民生委員や警察等と協力して対応している。職員とこるをいるを発等をと協力に対応している。職員とこる方もいるが、家族やケアマスがより、利用者の歯科医師会のではいいない、毎年本人の自席の受診犯が、利用者の歯科医師会のではいいなが、毎年本の自己を表したのは、対応がなが、対応を連れてきたのに、対応がなが、対応に、表しいに、表しい、大き地に、大き地に、大き地に、大き地に、大き地に、大き地に、大き地に、大きないのではないがない、大きないのではないがない、大きないのではないが、大きないのではないが、大きないのではないが、対に対して、大きないのではないが、大きないが、と感じたが、あると理解できた。そのに、大き地に、大きないのではないが、対応に持て対しるのが、対して、大きないのではないが、対して、大きないのではないが、対して、大きないのではないが、対して、大きないのではないが、対して、大きないのは、といいのは、対して、大きないのは、対して、大きないのは、大きないいのは、大きないのは、大きないのは、大きないのは、大きないのは、大きないのは、大きないのは、大きないのは、大きないのは、大きないいのは、大きないいのは、大きないのは、大きないのは、大きないのは、大きないのは、大きないのは、大きないいのは、大きないのは、大きないのは、大きないのは、大きないのは、大きないのは、大きないのは、大きないのは、大きないのは、大きないのは、大きないのは、大きないのは、大きないいいのは、大きないのは、大きないのは、大きないいのは、大きないいのは、大きないいのは、大きないのは、大きないのは、大きないいいのは、大きないのは、ないのは、大きないいいのは、ないのは、ないのは、ないのは、ないのは、ないのは、ないのは、ないの		圏域でもこのような会議を開催しているのか。
授継続が困難なケースについて検討している。出された課題については、県内全域の会議でも取りまとめている。 精神障害の方に関する通報は多くある。関係機関に早期に引き継ぐように対応している。自傷他に関する法律第23条に基づく通報ということで、保健所に通報している。包丁を表り回している等、明らかに危険な事業であれば、スエーズに入院につながるが、微妙な事業であれば、不要と関でも、たらい目しに介入るが、微勢をとしまうこと要。地域住民の不安は大きいことでに介入。 警察としまうこと要。地域住民の不安は大きいででにから、警察として対応の不安は大きいででで、12 台の牧急車があるが、全台は長の不安は大きいる。精神疾患の牧急の対応で増かかったことがあった。精神疾患の牧急の対応で難しいともあった。精神疾患の牧急で到断が起こともあいた、末神とと変とと協力して対応していきたい。 世科医師会の守山地区としては、毎年作業所に出向いて、利用者の歯科健診を方のは、毎年作業所に出向の関抗を変換を発音を対して対応している。 大きによいのではからないな体験できたの強度できたのは、ないかを変がるが、家族やケアマくれ広が元のていて、利用を見ることがが、家族やケアマくれば、毎年によびが表してまたが、名内などがる、家族やかてきたい。近年を支援が進ないまなが、なき連れてきたり、近れたが、大き連れたが、大き連れたが、大き連れたが、大き連れたが、大き連れたが、大き連れたが、大き連れたが、大き連れたが、大き速者の検討を正とが、第年にしても良いのではないかと表表であると理解にしている。といってはないかと表表であると理解に対して、表表が表表を表表している。と述らないのではないかと表表でであると理解に対している。といってはないかと表表が発している。といってはないかと表表が表表が表表が表表している。というなに表表が表表が表表が表表が表表が表表が表表が表表が表表が表表が表表が表表が表表が	接継続が困難なケースについて検討している。出された課題については、県内全域の会議でも取りまとめている。 特神障害の方に関する通報は多くある。関係機関に早期に引き継ぐように対応している。自傷他需のおそれがある方については精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第23条に基づく通報ということで、保健所に通知なしている。包丁を尿り回している等、明らかに危険な事業は、病院受診要性を関じてもれることも多い。警察としてうことで、多様関関が表別を必要性の情報、表別のでのではないを要にもあるに、表別で必要性の情報、表別を必要であまた。即はたかることは必要。地域住民の不安は大きいと感じている。特神疾患の対応では草津守山栗東野洲を管轄しており、全部で12台の教急車があるが、時間は同なることがあった。精神疾患の対応で発したなることがあった。精神疾患の対応で難しいとともあった。精神疾患の治療が応難しいととも多い。地域の民生委員や警察等と協力して対応している。と協力して対応しても多い。地域の民生委員や警察等を占拠力に対応している。と協力に対応している。と協力に対応して対応しては、毎年作業所に出向いて、利用者の歯科医師会の守山地区としては、毎年作業所に出向いて、利用者の歯科医師会の守山地区としては、毎年作業所に出向いて、利用者の歯科医師会の守山地区としては、毎年作業所に出向いて、利用者の歯科医師会の守山地区としては、毎年作業所に出向いて、利用者の歯科を変が変に悩むことも多い。地域の民生委等を対応が、大変にないる。にも包括が進れて、利度を連れてくる支援者の分ける。とも包括が進れて、表別なないを連れてくる支援者の分ける。ときたが難しいという話だ扱が高と関いないたと思うのは、を変わらないのではないかと感じたが、最大と関が対しても、表別なは、といいのではないかと思うに、一般に対している。と、表別なは、といいのではないかと思うに、一般に対している。と、表別なは、といいのではないかと思うに、表別ないのではないかと思うに、表別ないのではないかと思うに、表別ないのではないかと思うに、表別ないのではないが、表別ないのではないかと思うに表別ないる。出来に表別ないのではないのではないのではないが、表別ないのではないかと思うないのではないのではないのではないのではないのではないのではないのではないのでは	真渓委員	令和5年度から湖南圏域でも精神保健医療福祉チーム会議を立
フいては、県内全域の会議でも取りまとめている。	切いては、県内全域の会議でも取りまとめている。 精神障害の方に関する通報は多くある。関係機関に早期に引き継ぐように対応している。自傷他と関する法律第23条に基づく通報ということで、保健所に通報している。包丁を振り回している等、明らかに危険な事業であれば、スムーズに入院につながるが、微妙な事業であれば、スス要と判断されることも多い。警察としてまうことをもある。関係では大きいと感じても、たら、早期に介入することは必要。地域住民の不安は大きいと感じている。精神疾患の救急車があるが、全台出時間になることがあった。精神疾患の救急車があるが、全台出時間になることがあった。精神疾患の救急車があるが、全台出時間になることがあった。精神疾患の救急車がが難しいとも多い。地域の民生委員と協力して対応していきたい。と協力して対応していきたい。  門田委員  「日番貝」  「日本美」  「日本、大」  「日本、大工、大」  「日本、大工、大工、大工、大工、大工、大工、大工、大工、大工、大工、大工、大工、大工、		ち上げている。精神担当課やそれぞれの関係機関が集まり、支
## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ##	坂口委員 精神障害の方に関する通報は多くある。関係機関に早期に引き継でように対応している。自傷他害のお法律第23条に基づく通報ということで、保健所に通報している等、明らかに危険な事業であれば、スムーズに入院につながるが、微妙な事業であれば、スス要と判断されることも多い。警察としてまうことも、機関の不安は大きいと感じても、たらい回しに介入することは必要。地域住民の不安は大きいと感じている。 間南広域消防局では草津守山栗東野洲を管轄しており、全部で12台の教急車があるが、世球できて、東東で飛び降り末遂の対応応難しいととも多い。精神疾患の教意の対応応難しいとことがあった。精神疾患が認知症の対応でなるとがあった。精神疾患が認知症に悩むことも多い。地域の民生委員や警察等と協力して対応していきたい。		援継続が困難なケースについて検討している。出された課題に
継ぐように対応している。自傷他害のおそれがある方については精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第23条に基づく通報ということで、保健所に通報している。包丁を振り回している等、明らかに危険な事案であれば、スムーズに入院につながるが、微妙な事案であれば、病院受診で、平期されることも多い。警察として医療に引き継ばの不安と判断されることものになってしまうこともある。関係機関が情報共有して、早期に介入することは必要。地域住民の不安は大きいと感じている。 内田委員 湖南広域消防局では草津守山栗東野洲を管轄しており、全部で12台の救急車があるが、全台出動する日数が増えてきる。精神疾患の救急の対応時間はなることがあった。精神として経過を表し、実施の対応が難しいという話が、救急降祭等を協力して対応していきたい。 電科医師会の守山地区としては、毎年作業所に出向いて、利用者の歯科健診を行っは良いいる。にも包括が進んで、本が、表達れてきたのは良かですべいる。にも包括が進んで、本に、記述ができたのはといいないが、でいくと良い。また、認知症と精神疾患を見分けることが難しいという話だが、本が、知症と精神疾患を見分けることが応らに、支援すると関いて、制度に結び付けるのが大変であると理解できた。その他の点で、支援方法の検討が難しいというのは、どういったところか。	継ぐように対応している。目傷他害のおそれがある方については精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第23条に基づく通報ということで、保健所に通報している。包丁を振り回している等、明らかに危険な事案であれば、スムーズに入院につながるが、微妙な事案であれば、病院受診不要と判断されることも多い。警察として医療に引き継ばが必要性を感じても、たらい回しに介入することは必要。地域住民の不安は大きいと感じている。内田委員 湖南広域消防局では草津守山栗東野洲を管轄しており、全部で12 台の救急車があるが、全台出動する日数が増えてきている。精神疾患の救急の対応時間は時間になることが多く、栗東市で飛び降り未遂の対応で3時間かかったことがあった。精神疾患が変に悩むことも多い。地域の民生委員や警察等と協力して対応していきたい。 歯科医師会の守山地区としては、毎年作業所に出向いて、利用者の歯科性診を行の決定していきたい。 歯科治療の受熱切な近隣住民などが本人を連れてきてくれる。にも包括が進んで、本人を連れてくる支援者の選択肢が広がっていくと良い。また、認知症と精神疾患を見分けることが発きに、変わらないのではないかと感じたが、藤と理解できた。その他の点で、支援方法の検討が難しいという話だが、本人を連れてくる支援者の過じたが、藤理解できた。その他の点で、支援方法の検討が難しいというのは、どういったところか。		ついては、県内全域の会議でも取りまとめている。
は精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第 23 条に基づく通報ということで、保健所に通報している。包丁を振り回している等、明らかに危険な事業であれば、スムーズに入院につながるが、微妙な事業であれば、病院受診不要と判断されることも多い。警察として医療に引き継ぐ必要性を感じても、たらい回しになってしまうこともある。関係機関が情報共有して、早期に介入することは必要。地域住民の不安は大きいと感じている。   初南広域消防局では草津守山栗東野洲を管轄しており、全部で12 台の救急車があるが、全台出動する日とが多く、栗神疾患の救急の対応で3時間になることがあった。精神疾患の救急の対応で3時間いたことがあった。精神疾患の刺断が難しいとも多い。地域の民生委員や警察等患か認知症の側断がが難しいとも多い。地域の民生委員や警察等と協力して対応していきたい。   暦科医師会の守山地区としては、毎年作業所に出向いて、利用者の歯科健診を行っていい体験だった。歯の支援者、親切なともあるとができたのは良とご本人治療の受診拒な近ずる方もいるが、家族やケアマネえれる。ていくと良いの表を連れてくる支援者の分けることががあると理択肢がが気にしても、変わらないのではないかと感じたが、素本委員等の話を聞いて、制度に結び付けるのが大変であると理解できた。その他の点で、支援方法の検討が難しいというのは、どういったところか。	は精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第23条に基づく通報ということで、保健所に通報している。包丁を振り回している等、明らかに危険な事案であれば、スムーズに入院につながるが、微妙な事案であれば、病院受診不要と判断されることも多い。警察としてまうこともある。関係機関が情報共有して、早期に介入することは必要。地域住民の不安は大きいと感じている。  内田委員 湖南広域消防局では草津守山栗東野洲を管轄しており、全部で12台の救急車があるが、全台出動する日数が増えてきる。精神疾患の救急の対応時間は長時間になることが多く、精神疾患の救急の対応時間は長時間になることが多く、精神疾患の救患を問じなることがあった。精神疾患が膨胀があったが、救急隊祭等患が過失の選定に似きたい。地域の民生委員や警察等と協力して対応していきたい。  門田委員 歯科医師会の守山地区としては、毎年作業所に出向いて、利用者の歯科健診を行っは良いでは、毎年作業所に出向いて、利用者の歯科医師会の守山地区としては、最にも包括が進んでまする方もいるが、家族やケアマネジャー等の支援者が進んでまする方もいるが、家産れてきまなが本人を連れてがあるにも包括が進んでよる支援者の選択肢が広がっていくと良い。また、認知症と精神疾患を見分けることが難しいという話だが、本人を連れてくる支援者の選択肢が広難しいという話だが、東海を見合いとは、支援するのは、どういったところか。  事務局 地域の方や警察の方から、何か問題行動があったり、地域で困	坂口委員	精神障害の方に関する通報は多くある。関係機関に早期に引き
報ということで、保健所に通報している。包丁を振り回している等、明らかに危険な事案であれば、スムーズに入院につながるが、微妙な事案であれば、病院受診不要と判断されることも多い。警察として医療に引き継ぐ必要性を感じても、たらい回しにかってしまうこともある。関係の不安は大きいと感じている。 関係の不安は大きいと感じている。 関係の不安は大きいと感じている。 精神疾患の対応を関になることがあった。 本達中山栗東野洲を管轄しており、全部で12 台の教急車があるが、全台出動する日名のことがあった。 精神疾患の対応が聞になることがあった。 特神疾患の対応が難しいたことがあった を いる を と協力している。 関係といいう話もあったが、 を と協力に対した。 というがあった を と協力に対した。 というに としていいきたい。 地域の民生委員や警察等と協力に対した。 は 毎年作業所に出向にいて、利用者の歯科を診を行っていい体験だった。 等の支援者、親切なできたのは良いが本ができた。 そのとががなが、 家族やケアさては、 毎年作業のできる方もいるが、 家族やケアさていいない。また、認知症と精神疾患を見分けることがが難しいという方を関いて、制度に結び付けるのが大変であると理解できた。その他の点で、 支援方法の検討が難しいというのは、どういったところか。	報ということで、保健所に通報している。包丁を振り回している等、明らかに危険な事案であれば、スムーズに入院につながるが、微妙な事案であれば、病院受診不要と判断されることも多い。警察として医療に引き継ぐ必要性を感じても、たらい回しになってしまうこともある。関係機関が情報共有して、早期に介入することは必要。地域住民の不安は大きいと感じている。 内田委員 湖南広域消防局では草津守山栗東野洲を管轄しており、全部で12 台の救急車があるが、全台出動する日数が増えてきて、栗東市で飛び降り未遂の対応で3時間になることがあった。精神疾患の救忘の対応でで3時間になることがあった。精神疾患か認知症の判断が難しいとも多い。地域の民生委員や警察等患か認知症していきたい。 内田委員 歯科医師会の守山地区としては、毎年作業所に出向いて、利用者の歯科健診を行っている。職員とご本人の日常の受診拒ないるを支援ができたのは良い体験だった。毎の支援者、親切ならないるではない体験だった。毎の支援が進んで、本人を連れてくる支援者の対なることがが、気にも包括が進んで、本人を連れてくる支援者の対ることががあっていという話だが、鑑別になくても良いのではないがと思う。どちらにしても、支援する内容は変わらないのではないかと感じたが、と理解できた。その他の点で、支援方法の検討が難しいというのは、どういったところか。		継ぐように対応している。自傷他害のおそれがある方について
本等、明らかに危険な事業であれば、スムーズに入院につながるが、微妙な事業であれば、病院受診不要と判断されることも多い。警察として医療に引き継ぐ必要性を感じても、たらい回しになってしまうこともある。関係機関が情報共有して、早期に介入することは必要。地域住民の不安は大きいと感じている。  内田委員 湖南広域消防局では草津守山栗東野洲を管轄しており、全部で12 台の救急車があるが、全台出動する日数が増えてきている。精神疾患の救急を向対応時間になることがあった。精神疾患の対応が難しいとなるとがあった。精神疾患が認知症がの判断が難しいという話もあっ民生委員や警察患か認知症の選定に悩むといるとあ力して対応していきたい。地域の民生委員や警察と協力して対応していきたい。地域の民生委員や警察と協力して対応していきたい。地域の民生委員や警察をと協力して対応していた。カもいるが、教員とご本人の関わりをを関わるとができたのは良い体験だった。歯科の関わりををする方もいるが、家族やケアマネンシャー等の支援者、親切な近隣住民などが本人を連れてくれる。にも包括が進んで、本人を連れてくる支援者の選択肢が広が重しいという話だが、総知症と精神疾患を見分けることが難しいという話だが、、総内症と精神疾患を見分けることであると理解できた。その他の点で、支援方法の検討が難しいというのは、どういったところか。	る等、明らかに危険な事案であれば、スムーズに入院につながるが、微妙な事案であれば、病院受診不要と判断されることも多い。警察として医療に引き継ぐ必要性を感じても、たらい回しになってしまうこともある。関係機関が情報共有して、早期に介入することは必要。地域住民の不安は大きいと感じている。 内田委員 湖南広域消防局では草津守山栗東野洲を管轄しており、全部で12 台の救急車があるが、全台出動する日ることがあった。精神疾患の対応で3時間になることがあった。精神疾患の対応で3時間いったことがあった。精神疾患の対応が難しいともあったを要か認知症かの選定に悩むことも多い。地域の民生委員や警察等と協力していきたい。  門田委員 歯科医師会の守山地区としては、毎年作業所に出向いて、利用者の歯科健診を行っている験だった。毎の支援者、親切な近路が本人を連れてくる支援者の選択肢が広がっていくと見いた。また、認知症と精神疾患を見分けることが難しいという支援の活を関いなくても良いのではといかと感じたが、療をの方と思う。どちらにしても、景等の話を聞いて、制度に結び付けるのが大変であると理解できた。その他の点で、支援方法の検討が難しいというのは、どういったところか。		は精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第23条に基づく通
るが、微妙な事案であれば、病院受診不要と判断されることも多い。警察として定療に引き継ぐ必要性を感じても、たらい回しになってしまうこともある。関係機関が情報共有している。 関係広介入することは必要。地域住民の不安は大きいと感じている。 間南広域消防局では草津守山栗東野洲を管轄しており、全部で12 台の救急車があるが、全台出動する日数が増えてきている。 精神疾患の救急の対応時間は長時間になることが多く、栗東市で飛び降り未遂の対応で3時間かかったことがあった。 精神疾患が認知症かの判断が難しいという話もあったが、教急隊を集まが認知症かの選定に悩むことも多い。地域の民生委員や警察等と協力して対応していきたい。	るが、微妙な事案であれば、病院受診不要と判断されることも多い。警察として医療に引き継ぐ必要性を感じても、たらい回しになってしまうこともある。関係機関が情報共有して、早期に介入することは必要。地域住民の不安は大きいと感じている。		報ということで、保健所に通報している。包丁を振り回してい
多い。警察として医療に引き継ぐ必要性を感じても、たらい回しになってしまうこともある。関係機関が情報共有して、早期に介入することは必要。地域住民の不安は大きいと感じている。  内田委員 湖南広域消防局では草津守山栗東野洲を管轄しており、全部で12 台の救急車があるが、全台出動する日数が増えてきている。精神疾患の救急の対応時間は長時間になることがあった。精神疾患が認知症かの判断が難しいという話もあったが、救急隊としても搬送先の選定に悩むことも多い。地域の民生委員や警察等と協力して対応していきたい。  門田委員 歯科医師会の守山地区としては、毎年作業所に出向いて、利用者の歯科健診を行っている。職員とご本人の関わりを見ることができたのは良い体験だった。歯科治療の受診拒否をする方もいるが、家族やケアマネジャー等の支援者、親切な近隣住民などが本人を連れてきてくれる。にも包括が進んで、本人を連れてくる支援者の避けなが広が難しいとしても、支援の話を関いなくても良いのではないかと感じたが、藤本委員等の話を聞いて、制度に結び付けるのが大変であると理解できた。その他の点で、支援方法の検討が難しいというのは、どういったところか。	多い。警察として医療に引き継ぐ必要性を感じても、たらい回しになってしまうこともある。関係機関が情報共有して、早期に介入力をことは必要。地域住民の不安は大きいと感じている。 内田委員 湖南広域消防局では草津守山栗東野洲を管轄しており、全部で12 台の救急車があるが、全台出動する日数が増えてきている。精神疾患の救急の対応時間は長時間になることが多く、栗東市で飛び降り未遂の対応で3時間かかったことがあった。精神疾患が認知症かの判断が難しいという話もあったが、救急隊としても搬送先の選定に悩むことも多い。地域の民生委員や警察等と協力して対応していきたい。 門田委員 歯科医師会の守山地区としては、毎年作業所に出向いて、利用者の歯科健診を行っている。職員とご本人の日常の関わりを見ることができたのは良い体験だった。歯科治療の受診拒否をする方もいるが、家族やケアマネジャー等の支援者、親切な近隣住民などが本人を連れてきてくれる。にも包括が進んでまた、認知症と精神疾患を見分けることが難しいという話だが、鑑別しなくても良いのではないかと感じたが、藤本委員等の話を聞いて、制度に結び付けるのが大変であると理解できた。その他の点で、支援方法の検討が難しいというのは、どういったところか。 事務局 地域の方や警察の方から、何か問題行動があったり、地域で因		る等、明らかに危険な事案であれば、スムーズに入院につなが
しになってしまうこともある。関係機関が情報共有して、早期に介入することは必要。地域住民の不安は大きいと感じている。  内田委員 湖南広域消防局では草津守山栗東野洲を管轄しており、全部で12 台の救急車があるが、全台出動する日数が増えてきている。精神疾患の救急の対応時間は長時間になることが多く、栗東市で飛び降り未遂の対応で3時間かかったことがあった。精神疾患が認知症かの判断が難しいという話もあったが、救急隊としても搬送先の選定に悩むことも多い。地域の民生委員や警察等と協力して対応していきたい。  門田委員 歯科医師会の守山地区としては、毎年作業所に出向いて、利用者の歯科健診を行っている。職員とご本人の日常の関わりを見ることができたのは良い体験だった。歯科治療の受診拒否をする方もいるが、家族やケアマネジャー等の支援者、親切な近降住民などが本人を連れてきてくれる。にも包括が進んで、本、認知症と精神疾患を見分けることが難しいという話だが、鑑別しなくても良いのではと思う。どちらにしても、支援する内容は変わらないのではないかと感じたが、藤本委員等の話を閉いて、制度に結び付けるのが大変であると理解できた。その他の点で、支援方法の検討が難しいというのは、どういったところか。	しになってしまうこともある。関係機関が情報共有して、早期に介入することは必要。地域住民の不安は大きいと感じている。 内田委員 湖南広域消防局では草津守山栗東野洲を管轄しており、全部で12 台の救急車があるが、全台出動する日数が増えてきている。精神疾患の救急の対応時間はなることが多く、栗東市で飛び降り未遂の対応で3時間かかったことがあった。精神疾患が認知症かの判断が難しいという話もあったが、救急隊としても搬送先の選定に悩むことも多い。地域の民生委員や警察等と協力して対応していきたい。 門田委員 歯科医師会の守山地区としては、毎年作業所に出向いて、利用者の歯科健診を行っている。職員とご本人の日常の関わりを見ることができたのは良い体験だった。歯科治療の受診拒否をする方もいるが、家族やケアマネジャー等の支援者、親切な近隣住民などが本人を連れてきてくれる。にも包括が進んで、本人を連れてくる支援者の選択肢が広がっていくと良い。また、認知症と精神疾患を見分けることが難しいという話だが、鑑別しなくても良いのではと思う。どちらにしても、支援するのと思いのではないかと感じたが、藤本委員等の話を聞いて、制度に結び付けるのが大変であると理解できた。その他の点で、支援方法の検討が難しいというのは、どういったところか。		るが、微妙な事案であれば、病院受診不要と判断されることも
に介入することは必要。地域住民の不安は大きいと感じている。 内田委員 湖南広域消防局では草津守山栗東野洲を管轄しており、全部で12 台の救急車があるが、全台出動する日数が増えてきている。精神疾患の救急の対応時間は長時間になることが多く、栗東市で飛び降り未遂の対応で3時間かかったことがあった。精神疾患が認知症かの判断が難しいという話もあったが、救急隊としても搬送先の選定に悩むことも多い。地域の民生委員や警察等と協力して対応していきたい。  門田委員 歯科医師会の守山地区としては、毎年作業所に出向いて、利用者の歯科健診を行っている。職員とご本人の日常の関わりを見ることができたのは良い体験だった。歯科治療の受診拒否をする方もいるが、家族やケアマネジャー等の支援者、親切な近降住民などが本人を連れてされる。にも包括が進んで、本人を連れてくる支援者の選択肢が広がっていくと良い。また、別知症と精神疾患を見分けることが難しいという話だが、鑑別なくても良いのではと思う。どちらにしても、支援する内容はないかと感じたが、藤本委員等の話を聞いて、制度に結び付けるのが大変であると理解できた。その他の点で、支援方法の検討が難しいというのは、どういったところか。	に介入することは必要。地域住民の不安は大きいと感じている。 内田委員 湖南広域消防局では草津守山栗東野洲を管轄しており、全部で12 台の救急車があるが、全台出動する日数が増えてきている。精神疾患の救急の対応時間は長時間になることが多く、栗東市で飛び降り未遂の対応で3時間かかったことがあった。精神疾患か認知症かの判断が難しいという話もあったが、救急隊としても搬送先の選定に悩むことも多い。地域の民生委員や警察等と協力して対応していきたい。  門田委員 歯科医師会の守山地区としては、毎年作業所に出向いて、利用者の歯科健診を行っている。職員とご本人の日常の関わりを見ることができたのは良い体験だった。歯科治療の受診拒否をする方もいるが、家族やケアマネジャー等の支援者、親切な近隣住民などが本人を連れてきてくれる。にも包括が進んで、本人を連れてくる支援者の選択肢が広がっていくと良い。また、別しなくても良いのではと思う。どちらにしても、支援する内容は変わらないのではないかと感じたが、藤本委員等の話を聞いて、制度に結び付けるのが大変であると理解できた。その他の点で、支援方法の検討が難しいというのは、どういったところか。		多い。警察として医療に引き継ぐ必要性を感じても、たらい回
内田委員 湖南広域消防局では草津守山栗東野洲を管轄しており、全部で 12 台の救急車があるが、全台出動する日数が増えてきている。 精神疾患の救急の対応時間は長時間になることが多く、栗東市で飛び降り未遂の対応で3時間かかったことがあった。精神疾患か認知症かの判断が難しいという話もあったが、救急隊としても搬送先の選定に悩むことも多い。地域の民生委員や警察等と協力して対応していきたい。	内田委員 湖南広域消防局では草津守山栗東野洲を管轄しており、全部で 12 台の救急車があるが、全台出動する日数が増えてきている。 精神疾患の救急の対応時間は長時間になることが多く、栗東市で飛び降り未遂の対応で3時間かかったことがあった。精神疾患か認知症かの判断が難しいという話もあったが、救急隊としても搬送先の選定に悩むことも多い。地域の民生委員や警察等と協力して対応していきたい。    「門田委員 歯科医師会の守山地区としては、毎年作業所に出向いて、利用者の歯科健診を行っている。職員とご本人の日常の関わりを見ることができたのは良い体験だった。歯科治療の受診拒否をする方もいるが、家族やケアマネジャー等の支援者、親切な近隣住民などが本人を連れてきてくれる。にも包括が進んで、本人を連れてくる支援者の選択肢が広がっていくと良い。また、別りなくても良いのではと思う。どちらにしても、支援する内容は変わらないのではないかと感じたが、藤本委員等の話を聞いて、制度に結び付けるのが大変であると理解できた。その他の点で、支援方法の検討が難しいというのは、どういったところか。		しになってしまうこともある。関係機関が情報共有して、早期
内田委員 湖南広域消防局では草津守山栗東野洲を管轄しており、全部で 12 台の救急車があるが、全台出動する日数が増えてきている。 精神疾患の救急の対応時間は長時間になることが多く、栗東市で飛び降り未遂の対応で3時間かかったことがあった。精神疾患か認知症かの判断が難しいという話もあったが、救急隊としても搬送先の選定に悩むことも多い。地域の民生委員や警察等と協力して対応していきたい。	内田委員 湖南広域消防局では草津守山栗東野洲を管轄しており、全部で 12 台の救急車があるが、全台出動する日数が増えてきている。 精神疾患の救急の対応時間は長時間になることが多く、栗東市で飛び降り未遂の対応で3時間かかったことがあった。 精神疾患か認知症かの判断が難しいという話もあったが、救急隊としても搬送先の選定に悩むことも多い。 地域の民生委員や警察等と協力して対応していきたい。		に介入することは必要。地域住民の不安は大きいと感じてい
12 台の救急車があるが、全台出動する日数が増えてきている。 精神疾患の救急の対応時間は長時間になることが多く、栗東市 で飛び降り未遂の対応で3時間かかったことがあった。精神疾 患か認知症かの判断が難しいという話もあったが、救急隊とし ても搬送先の選定に悩むことも多い。地域の民生委員や警察等 と協力して対応していきたい。 門田委員 歯科医師会の守山地区としては、毎年作業所に出向いて、利用 者の歯科健診を行っている。職員とご本人の日常の関わりを見 ることができたのは良い体験だった。歯科治療の受診拒否をす る方もいるが、家族やケアマネジャー等の支援者、親切な近隣 住民などが本人を連れてきてくれる。にも包括が進んで、本人 を連れてくる支援者の選択肢が広がっていくと良い。また、認 知症と精神疾患を見分けることが難しいという話だが、鑑別し なくても良いのではと思う。どちらにしても、支援する内容は 変わらないのではないかと感じたが、藤本委員等の話を聞い て、制度に結び付けるのが大変であると理解できた。その他の 点で、支援方法の検討が難しいというのは、どういったところ か。	12 台の救急車があるが、全台出動する日数が増えてきている。 精神疾患の救急の対応時間は長時間になることが多く、栗東市 で飛び降り未遂の対応で3時間かかったことがあった。精神疾 患か認知症かの判断が難しいという話もあったが、救急隊とし ても搬送先の選定に悩むことも多い。地域の民生委員や警察等 と協力して対応していきたい。 門田委員 歯科医師会の守山地区としては、毎年作業所に出向いて、利用 者の歯科健診を行っている。職員とご本人の日常の関わりを見 ることができたのは良い体験だった。歯科治療の受診拒否をす る方もいるが、家族やケアマネジャー等の支援者、親切な近隣 住民などが本人を連れてきてくれる。にも包括が進んで、本人 を連れてくる支援者の選択肢が広がっていくと良い。また、認 知症と精神疾患を見分けることが難しいという話だが、鑑別し なくても良いのではと思う。どちらにしても、支援する内容は 変わらないのではないかと感じたが、藤本委員等の話を聞い て、制度に結び付けるのが大変であると理解できた。その他の 点で、支援方法の検討が難しいというのは、どういったところ か。		る。
精神疾患の救急の対応時間は長時間になることが多く、栗東市で飛び降り未遂の対応で3時間かかったことがあった。精神疾患か認知症かの判断が難しいという話もあったが、救急隊としても搬送先の選定に悩むことも多い。地域の民生委員や警察等と協力して対応していきたい。  問田委員  歯科医師会の守山地区としては、毎年作業所に出向いて、利用者の歯科健診を行っている。職員とご本人の日常の関わりを見ることができたのは良い体験だった。歯科治療の受診拒否をする方もいるが、家族やケアマネジャー等の支援者、親切な近隣住民などが本人を連れてきてくれる。にも包括が進んで、本人を連れてくる支援者の選択肢が広がっていくと良い。また、認知症と精神疾患を見分けることが難しいという話だが、鑑別しなくても良いのではないかと感じたが、藤本委員等の話を聞いて、制度に結び付けるのが大変であると理解できた。その他の点で、支援方法の検討が難しいというのは、どういったところか。	精神疾患の救急の対応時間は長時間になることが多く、栗東市で飛び降り未遂の対応で3時間かかったことがあった。精神疾患か認知症かの判断が難しいという話もあったが、救急隊としても搬送先の選定に悩むことも多い。地域の民生委員や警察等と協力して対応していきたい。  門田委員 歯科医師会の守山地区としては、毎年作業所に出向いて、利用者の歯科健診を行っている。職員とご本人の日常の関わりを見ることができたのは良い体験だった。歯科治療の受診拒否をする方もいるが、家族やケアマネジャー等の支援者、親切な近隣住民などが本人を連れてきてくれる。にも包括が進んで、本人を連れてくる支援者の選択肢が広がっていくと良い。また、認知症と精神疾患を見分けることが難しいという話だが、鑑別しなくても良いのではと思う。どちらにしても、支援する内容は変わらないのではないかと感じたが、藤本委員等の話を聞いて、制度に結び付けるのが大変であると理解できた。その他の点で、支援方法の検討が難しいというのは、どういったところか。	内田委員	湖南広域消防局では草津守山栗東野洲を管轄しており、全部で
で飛び降り未遂の対応で3時間かかったことがあった。精神疾患か認知症かの判断が難しいという話もあったが、救急隊としても搬送先の選定に悩むことも多い。地域の民生委員や警察等と協力して対応していきたい。 地域の民生委員や警察等と協力して対応していきたい。 歯科医師会の守山地区としては、毎年作業所に出向いて、利用者の歯科健診を行っている。職員とご本人の日常の関わりを見ることができたのは良い体験だった。歯科治療の受診拒否をする方もいるが、家族やケアマネジャー等の支援者、親切な近隣住民などが本人を連れてきてくれる。にも包括が進んで、本人を連れてくる支援者の選択肢が広がっていくと良い。また、認知症と精神疾患を見分けることが難しいという話だが、鑑別しなくても良いのではと思う。どちらにしても、支援する内容は変わらないのではないかと感じたが、藤本委員等の話を聞いて、制度に結び付けるのが大変であると理解できた。その他の点で、支援方法の検討が難しいというのは、どういったところか。	で飛び降り未遂の対応で3時間かかったことがあった。精神疾患か認知症かの判断が難しいという話もあったが、救急隊としても搬送先の選定に悩むことも多い。地域の民生委員や警察等と協力して対応していきたい。  門田委員 歯科医師会の守山地区としては、毎年作業所に出向いて、利用者の歯科健診を行っている。職員とご本人の日常の関わりを見ることができたのは良い体験だった。歯科治療の受診拒否をする方もいるが、家族やケアマネジャー等の支援者、親切な近隣住民などが本人を連れてきてくれる。にも包括が進んで、本人を連れてくる支援者の選択肢が広がっていくと良い。また、認知症と精神疾患を見分けることが難しいという話だが、鑑別しなくても良いのではと思う。どちらにしても、支援する内容は変わらないのではと思う。どちらにしても、支援する内容は変わらないのではないかと感じたが、藤本委員等の話を聞いて、制度に結び付けるのが大変であると理解できた。その他の点で、支援方法の検討が難しいというのは、どういったところか。		12 台の救急車があるが、全台出動する日数が増えてきている。
<ul> <li>患か認知症かの判断が難しいという話もあったが、救急隊としても搬送先の選定に悩むことも多い。地域の民生委員や警察等と協力して対応していきたい。</li> <li>門田委員 歯科医師会の守山地区としては、毎年作業所に出向いて、利用者の歯科健診を行っている。職員とご本人の日常の関わりを見ることができたのは良い体験だった。歯科治療の受診拒否をする方もいるが、家族やケアマネジャー等の支援者、親切な近隣住民などが本人を連れてきてくれる。にも包括が進んで、本人を連れてくる支援者の選択肢が広がっていくと良い。また、認知症と精神疾患を見分けることが難しいという話だが、鑑別しなくても良いのではと思う。どちらにしても、支援する内容は変わらないのではないかと感じたが、藤本委員等の話を聞いて、制度に結び付けるのが大変であると理解できた。その他の点で、支援方法の検討が難しいというのは、どういったところか。</li> </ul>	<ul> <li>患か認知症かの判断が難しいという話もあったが、救急隊としても搬送先の選定に悩むことも多い。地域の民生委員や警察等と協力して対応していきたい。</li> <li>門田委員 歯科医師会の守山地区としては、毎年作業所に出向いて、利用者の歯科健診を行っている。職員とご本人の日常の関わりを見ることができたのは良い体験だった。歯科治療の受診拒否をする方もいるが、家族やケアマネジャー等の支援者、親切な近隣住民などが本人を連れてきてくれる。にも包括が進んで、本人を連れてくる支援者の選択肢が広がっていくと良い。また、認知症と精神疾患を見分けることが難しいという話だが、鑑別しなくても良いのではと思う。どちらにしても、支援する内容は変わらないのではないかと感じたが、藤本委員等の話を聞いて、制度に結び付けるのが大変であると理解できた。その他の点で、支援方法の検討が難しいというのは、どういったところか。</li> <li>事務局 地域の方や警察の方から、何か問題行動があったり、地域で困</li> </ul>		精神疾患の救急の対応時間は長時間になることが多く、栗東市
でも搬送先の選定に悩むことも多い。地域の民生委員や警察等と協力して対応していきたい。  門田委員 歯科医師会の守山地区としては、毎年作業所に出向いて、利用者の歯科健診を行っている。職員とご本人の日常の関わりを見ることができたのは良い体験だった。歯科治療の受診拒否をする方もいるが、家族やケアマネジャー等の支援者、親切な近隣住民などが本人を連れてきてくれる。にも包括が進んで、本人を連れてくる支援者の選択肢が広がっていくと良い。また、認知症と精神疾患を見分けることが難しいという話だが、鑑別しなくても良いのではと思う。どちらにしても、支援する内容は変わらないのではないかと感じたが、藤本委員等の話を聞いて、制度に結び付けるのが大変であると理解できた。その他の点で、支援方法の検討が難しいというのは、どういったところか。	でも搬送先の選定に悩むことも多い。地域の民生委員や警察等と協力して対応していきたい。    西科医師会の守山地区としては、毎年作業所に出向いて、利用者の歯科健診を行っている。職員とご本人の日常の関わりを見ることができたのは良い体験だった。歯科治療の受診拒否をする方もいるが、家族やケアマネジャー等の支援者、親切な近隣住民などが本人を連れてきてくれる。にも包括が進んで、本人を連れてくる支援者の選択肢が広がっていくと良い。また、認知症と精神疾患を見分けることが難しいという話だが、鑑別しなくても良いのではと思う。どちらにしても、支援する内容は変わらないのではないかと感じたが、藤本委員等の話を聞いて、制度に結び付けるのが大変であると理解できた。その他の点で、支援方法の検討が難しいというのは、どういったところか。  事務局  地域の方や警察の方から、何か問題行動があったり、地域で困		で飛び降り未遂の対応で3時間かかったことがあった。精神疾
世間の世界の中ではでいきたい。    西番	世域の方や警察の方から、何か問題行動があったり、地域で困		患か認知症かの判断が難しいという話もあったが、救急隊とし
門田委員 歯科医師会の守山地区としては、毎年作業所に出向いて、利用者の歯科健診を行っている。職員とご本人の日常の関わりを見ることができたのは良い体験だった。歯科治療の受診拒否をする方もいるが、家族やケアマネジャー等の支援者、親切な近隣住民などが本人を連れてきてくれる。にも包括が進んで、本人を連れてくる支援者の選択肢が広がっていくと良い。また、認知症と精神疾患を見分けることが難しいという話だが、鑑別しなくても良いのではと思う。どちらにしても、支援する内容は変わらないのではないかと感じたが、藤本委員等の話を聞いて、制度に結び付けるのが大変であると理解できた。その他の点で、支援方法の検討が難しいというのは、どういったところか。	問田委員 歯科医師会の守山地区としては、毎年作業所に出向いて、利用者の歯科健診を行っている。職員とご本人の日常の関わりを見ることができたのは良い体験だった。歯科治療の受診拒否をする方もいるが、家族やケアマネジャー等の支援者、親切な近隣住民などが本人を連れてきてくれる。にも包括が進んで、本人を連れてくる支援者の選択肢が広がっていくと良い。また、認知症と精神疾患を見分けることが難しいという話だが、鑑別しなくても良いのではと思う。どちらにしても、支援する内容は変わらないのではないかと感じたが、藤本委員等の話を聞いて、制度に結び付けるのが大変であると理解できた。その他の点で、支援方法の検討が難しいというのは、どういったところか。  事務局 地域の方や警察の方から、何か問題行動があったり、地域で困		ても搬送先の選定に悩むことも多い。地域の民生委員や警察等
者の歯科健診を行っている。職員とご本人の日常の関わりを見ることができたのは良い体験だった。歯科治療の受診拒否をする方もいるが、家族やケアマネジャー等の支援者、親切な近隣住民などが本人を連れてきてくれる。にも包括が進んで、本人を連れてくる支援者の選択肢が広がっていくと良い。また、認知症と精神疾患を見分けることが難しいという話だが、鑑別しなくても良いのではと思う。どちらにしても、支援する内容は変わらないのではないかと感じたが、藤本委員等の話を聞いて、制度に結び付けるのが大変であると理解できた。その他の点で、支援方法の検討が難しいというのは、どういったところか。	者の歯科健診を行っている。職員とご本人の日常の関わりを見ることができたのは良い体験だった。歯科治療の受診拒否をする方もいるが、家族やケアマネジャー等の支援者、親切な近隣住民などが本人を連れてきてくれる。にも包括が進んで、本人を連れてくる支援者の選択肢が広がっていくと良い。また、認知症と精神疾患を見分けることが難しいという話だが、鑑別しなくても良いのではと思う。どちらにしても、支援する内容は変わらないのではないかと感じたが、藤本委員等の話を聞いて、制度に結び付けるのが大変であると理解できた。その他の点で、支援方法の検討が難しいというのは、どういったところか。  事務局  地域の方や警察の方から、何か問題行動があったり、地域で困		と協力して対応していきたい。
ることができたのは良い体験だった。歯科治療の受診拒否をする方もいるが、家族やケアマネジャー等の支援者、親切な近隣住民などが本人を連れてきてくれる。にも包括が進んで、本人を連れてくる支援者の選択肢が広がっていくと良い。また、認知症と精神疾患を見分けることが難しいという話だが、鑑別しなくても良いのではと思う。どちらにしても、支援する内容は変わらないのではないかと感じたが、藤本委員等の話を聞いて、制度に結び付けるのが大変であると理解できた。その他の点で、支援方法の検討が難しいというのは、どういったところか。	ることができたのは良い体験だった。歯科治療の受診拒否をする方もいるが、家族やケアマネジャー等の支援者、親切な近隣住民などが本人を連れてきてくれる。にも包括が進んで、本人を連れてくる支援者の選択肢が広がっていくと良い。また、認知症と精神疾患を見分けることが難しいという話だが、鑑別しなくても良いのではと思う。どちらにしても、支援する内容は変わらないのではないかと感じたが、藤本委員等の話を聞いて、制度に結び付けるのが大変であると理解できた。その他の点で、支援方法の検討が難しいというのは、どういったところか。 事務局 地域の方や警察の方から、何か問題行動があったり、地域で困	門田委員	歯科医師会の守山地区としては、毎年作業所に出向いて、利用
る方もいるが、家族やケアマネジャー等の支援者、親切な近隣住民などが本人を連れてきてくれる。にも包括が進んで、本人を連れてくる支援者の選択肢が広がっていくと良い。また、認知症と精神疾患を見分けることが難しいという話だが、鑑別しなくても良いのではと思う。どちらにしても、支援する内容は変わらないのではないかと感じたが、藤本委員等の話を聞いて、制度に結び付けるのが大変であると理解できた。その他の点で、支援方法の検討が難しいというのは、どういったところか。	る方もいるが、家族やケアマネジャー等の支援者、親切な近隣住民などが本人を連れてきてくれる。にも包括が進んで、本人を連れてくる支援者の選択肢が広がっていくと良い。また、認知症と精神疾患を見分けることが難しいという話だが、鑑別しなくても良いのではと思う。どちらにしても、支援する内容は変わらないのではないかと感じたが、藤本委員等の話を聞いて、制度に結び付けるのが大変であると理解できた。その他の点で、支援方法の検討が難しいというのは、どういったところか。  事務局  地域の方や警察の方から、何か問題行動があったり、地域で困		者の歯科健診を行っている。職員とご本人の日常の関わりを見
住民などが本人を連れてきてくれる。にも包括が進んで、本人を連れてくる支援者の選択肢が広がっていくと良い。また、認知症と精神疾患を見分けることが難しいという話だが、鑑別しなくても良いのではと思う。どちらにしても、支援する内容は変わらないのではないかと感じたが、藤本委員等の話を聞いて、制度に結び付けるのが大変であると理解できた。その他の点で、支援方法の検討が難しいというのは、どういったところか。	住民などが本人を連れてきてくれる。にも包括が進んで、本人を連れてくる支援者の選択肢が広がっていくと良い。また、認知症と精神疾患を見分けることが難しいという話だが、鑑別しなくても良いのではと思う。どちらにしても、支援する内容は変わらないのではないかと感じたが、藤本委員等の話を聞いて、制度に結び付けるのが大変であると理解できた。その他の点で、支援方法の検討が難しいというのは、どういったところか。  事務局  地域の方や警察の方から、何か問題行動があったり、地域で困		ることができたのは良い体験だった。歯科治療の受診拒否をす
を連れてくる支援者の選択肢が広がっていくと良い。また、認知症と精神疾患を見分けることが難しいという話だが、鑑別しなくても良いのではと思う。どちらにしても、支援する内容は変わらないのではないかと感じたが、藤本委員等の話を聞いて、制度に結び付けるのが大変であると理解できた。その他の点で、支援方法の検討が難しいというのは、どういったところか。	を連れてくる支援者の選択肢が広がっていくと良い。また、認知症と精神疾患を見分けることが難しいという話だが、鑑別しなくても良いのではと思う。どちらにしても、支援する内容は変わらないのではないかと感じたが、藤本委員等の話を聞いて、制度に結び付けるのが大変であると理解できた。その他の点で、支援方法の検討が難しいというのは、どういったところか。  事務局  地域の方や警察の方から、何か問題行動があったり、地域で困		る方もいるが、家族やケアマネジャー等の支援者、親切な近隣
知症と精神疾患を見分けることが難しいという話だが、鑑別しなくても良いのではと思う。どちらにしても、支援する内容は変わらないのではないかと感じたが、藤本委員等の話を聞いて、制度に結び付けるのが大変であると理解できた。その他の点で、支援方法の検討が難しいというのは、どういったところか。	知症と精神疾患を見分けることが難しいという話だが、鑑別しなくても良いのではと思う。どちらにしても、支援する内容は変わらないのではないかと感じたが、藤本委員等の話を聞いて、制度に結び付けるのが大変であると理解できた。その他の点で、支援方法の検討が難しいというのは、どういったところか。  事務局  地域の方や警察の方から、何か問題行動があったり、地域で困		住民などが本人を連れてきてくれる。にも包括が進んで、本人
なくても良いのではと思う。どちらにしても、支援する内容は 変わらないのではないかと感じたが、藤本委員等の話を聞い て、制度に結び付けるのが大変であると理解できた。その他の 点で、支援方法の検討が難しいというのは、どういったところ か。	なくても良いのではと思う。どちらにしても、支援する内容は変わらないのではないかと感じたが、藤本委員等の話を聞いて、制度に結び付けるのが大変であると理解できた。その他の点で、支援方法の検討が難しいというのは、どういったところか。  事務局 地域の方や警察の方から、何か問題行動があったり、地域で困		を連れてくる支援者の選択肢が広がっていくと良い。また、認
変わらないのではないかと感じたが、藤本委員等の話を聞い て、制度に結び付けるのが大変であると理解できた。その他の 点で、支援方法の検討が難しいというのは、どういったところ か。	変わらないのではないかと感じたが、藤本委員等の話を聞いて、制度に結び付けるのが大変であると理解できた。その他の点で、支援方法の検討が難しいというのは、どういったところか。  事務局  地域の方や警察の方から、何か問題行動があったり、地域で困		知症と精神疾患を見分けることが難しいという話だが、鑑別し
て、制度に結び付けるのが大変であると理解できた。その他の 点で、支援方法の検討が難しいというのは、どういったところ か。	て、制度に結び付けるのが大変であると理解できた。その他の 点で、支援方法の検討が難しいというのは、どういったところ か。 事務局 地域の方や警察の方から、何か問題行動があったり、地域で困		なくても良いのではと思う。どちらにしても、支援する内容は
点で、支援方法の検討が難しいというのは、どういったところか。	点で、支援方法の検討が難しいというのは、どういったところか。 事務局 地域の方や警察の方から、何か問題行動があったり、地域で困		変わらないのではないかと感じたが、藤本委員等の話を聞い
力。	か。 事務局 地域の方や警察の方から、何か問題行動があったり、地域で困		て、制度に結び付けるのが大変であると理解できた。その他の
	事務局 地域の方や警察の方から、何か問題行動があったり、地域で困		点で、支援方法の検討が難しいというのは、どういったところ
車数目 - 地域の古め数家の古れた 何か問題行動がなったり 地域で田			カゝ。
	┃(課長 竹村)┃っているといったことで相談があり、支援を開始するケースが	事務局	地域の方や警察の方から、何か問題行動があったり、地域で困
  (課長 竹村)  っているといったことで相談があり、支援を開始するケースが		(課長 竹村)	っているといったことで相談があり、支援を開始するケースが

	あるが、すでに症状が進行している場合もあり、支援の仕方に
	  難しさを感じている。医療受診につなげたくても、本人の意思
	確認が難しい事や家族と連絡が取れないといったことで、対応
	に困る現状がある。病院との連携は不可欠と考えているため、
	措置入所や病院等と連携してサービス利用等につなげていきた
	ly o
福田会長	支援のスタートが難しい。認知症なのか精神的な異常なのかわ
	  からないような症状が表に出てきているため、周囲が対応に困
	るというところ。
藤本委員	おそらく何らかの病気は持っている。統合失調症や躁うつ病
	等、治療途中でやめてしまって悪化することも多い。人格障害
	等も難しい。精神疾患の妄想状態で、認知症との違いは、認知
	機能障害がないこと。認知症の方は、症状が軽くても判断力が
	落ちる。精神疾患の方はある意味非常に賢いため、支援しよう
	としていることがばれてしまう。初診の精神科は3~4か月待
	ちの状態。精神科の診療所も減っており、診察時間もかかるた
	  め、3~4か月待ちの状況を解消するのは難しい。しかし、病
	  気であれば薬物治療等につなげられると良い。医療保護入院や
	措置入院といった本人の同意がなくても入院する方法がある
	が、入院治療することで、地域で暮らしていける人にする、地
	域から排除しないで良いようにするといったことにつながるた
	め、決してネガティブなことではない。
福田会長	本当に対応が難しいケースが今後増えていくと思う。地域を含
	め、みなさんの力でうまく切り抜けていけるような仕組みを作
	っていければ。